

2018年3月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 林 希一郎

スリランカ国コロンボ都市公共交通システム導入事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポート案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年2月16日(金) 14:00~14:45
- ・場所：JICA 本部(1階 111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：加藤委員、田辺委員、林委員、村山委員
(加藤委員、村山委員はメール審議にて参加)
- ・議題：スリランカ国コロンボ都市公共交通システム導入事業(協力準備調査(有償))
DFR案に係るDFR案についての助言案作成
- ・配布資料：“Preparatory Survey on The Project for Establishment of New Light Rail Transit System in Colombo, DRAFT FINAL REPORT, January 2018”, “ENVIRONMENTAL IMPACT ASSESSMENT For Colombo Light Rail Transit (LRT) Project, DRAFT REPORT, January 2018”, “Colombo Light Rail Transit (LRT) Project Resettlement Action Plan January 2018”、「協力準備調査スコーピング案への助言対応表」
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第88回委員会)

- ・日時：2018年3月5日(月) 14:30~17:22
- ・場所：JICA 本部(113会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 動植物、生態系への二次的な影響に対するモニタリングの方針について検討し、ファイナルレポート（以下、FR）に記載すること。

社会配慮

2. 小作人のための職業訓練等の生計回復策の実現可能性について他の案件の教訓とその反映方針をFRに記載すること。
3. 菩提樹、またはその周辺施設へのアクセス性の確保及び神事、祭事への参加者の時期的集中への配慮の方針をFRに記載すること。
4. 既存交通手段の営業者への影響と緩和策について検討し、FRに記載すること。
5. 工事中の混雑状況の悪化に伴い、沿道の学校を利用する子どもの通学に大きな影響が出ることがないように緩和策を検討し、FRに記載すること。

以 上